



開かれた学校づくり・第3子対策・



子育て支援などを視察＝厚生文教委員会

十月七、九日にかけて市議会厚生文教委員会で、東京江戸川区や栃木県鹿沼市、千葉県木更津市を視察しました。

江戸川区では「すすくすくスクール」事業といって放課後の子どもたちの居場所作りを二〇〇三年度（H一五年）からすすめ、区内七三すべての小学校で実施し、学童保育も六年生まで行っています。

訪れた学校では、二つの専用教室を使い、五時まではどちらの教室に行っても自由でのびのびと遊んだり宿題をしたりしてすごしていました。学童は六時までとなっています。

運営は、クラブマネージャー（非常勤）サブマネージャー（主に常勤）プレイングパートナー（パート）の職員とサポートセンターに登録した地域のボランティアによって活発に多彩な取り組みが行われていました。「子どもは地域の大人たちが守る」そんな意気込みが感じられました。

鹿沼市では、つながりのある少子化対策として五つの柱二一の事業に取り組み、そのメインが第三子対策事業となっています。

- 五つの柱は
1. 出産支援（妊婦健診一〇回等）
 2. 保育費の負担軽減
- （幼稚園・保育園とも三人目無料など）

9月議会一般質問から 2011年度を目途に、同報防災無線を整備したい＝市長

阪神大震災より防災対策として、災害情報を市民にいち早く伝達する手段として同報防災無線の必要性を訴えてきましたが、9月議会では、MCA無線システムによる同報防災無線を整備していきたいとの答弁がありました。

事業費は約3億円、拡声装置を市内89カ所に設置を予定し、区長や防災会長宅などには個別受信機を設置する予定です。

来年度実施設計をおこない、2010年、11年度にかけて整備する計画です。

きびしい財政状況が続いていますが、市民の安全安心のためにぜひ予定通り実現をしてほしいものです。



3. 経済的支援（三人目以降の子どもに給付金の支給など）
 4. 仕事と子育て両立の企業支援（現在三社）
 5. 住まいの支援（家賃補助や住宅取得助成）
- など今年度は総額三億六千万円の予算です。面積は江南市の一六倍ですが人口はほぼ同じの鹿沼市。妊娠・出産など子育てに対する経済的負担の軽減から、新婚世帯の定住促進対策まで総合的な取り組みが行われており、いったん落ち込んだ出生数も伸びてきているとのことです。
- 木更津市では、学校教育「新・木更津プラン」について学びましたが、特に「学校支援ボランティア活動推進事業」はすでに一〇年の歴史があり、学校花壇整備などの環境整備支援、読み聞かせや家庭科補助など教育活動支援、安全パトロールなど安全支援と三つの柱からなり、人口十二万人の市で約二千人の方が登録し活動しています。
- 特に教育支援では、専門学校教授や学生による理科出前授業や英語活動など教育現場に踏み込んでのボランティアの受け入れが行われています。
- ボランティア活動の登録者も年々増え「多様な特色ある教育活動」が展開され、開かれた学校づくりに役立っているとのことでした。

社会保障の施策拡充を求めて

愛知自治体キャラバンが江南市と懇談

10月22日11時から、民医連や保険医協会、新婦人、民商、年金者組合等の皆さんが、後期高齢者医療や介護保険、国民健康保険について、また子どもの医療費の無料制度の拡大などを求めて江南市と懇談しました。

市からは副市長や福祉部長、関係課長が出席しました。